防雪柵の進化とともに55年　理研興業㈱

常に新しい発想で製品開発を続ける理研興業の本社社屋

創業55年を迎えて

代表取締役社長　柴尾　耕三

当社は昭和三十年の創業以来、防雪・防風対策製品の製作専業メーカーとして各種製品を開発・販売してまいりました。

厳しい時代の荒波に、柔軟な姿勢で対応し、製品の研究・開発、技術向上に間断なく取り組み今日まで堅実な成長を遂げる事ができました。

これもひとえに、各発注機関をはじめ関係方面の方々のご理解と温かいご支援のお陰であり、心から厚くお礼申し上げます。

技術開発・製品開発に力を注ぎ、高度な技術力を駆使した高精度・高性能な製品の提供を実現し、仮設タイプの防雪柵から始まり高性能防雪柵・自動収納型の高機能防雪柵へと、様々な要望に応える事により、発注機関をはじめ多くの方々に高い評価を頂いて参りました。

創業五十五年の節目を迎え、公共事業に携わる立場から環境対策の取組「新製品は現場から生まれる」という発想、創造性を豊かに して社会のニーズに応え、単なる防雪柵を提供するだけではなく、関係機関の方々に環境にも配慮した、新たな製品・技術を提案し、雪庇防止柵・落雪防護柵・越波防止柵等で新たな需要を開拓し、更なる安全で円滑な雪害対策の一端を担って参りたいと思います。

これまでの皆様のご厚情ご支援に心より感謝申し上げますとともに、今後ともご助力賜ります様お願い申し上げます。

雪国の道路を支え半世紀余

防雪柵診断システムを提案

防雪柵・防風柵の専業メーカーの理研興業㈱（小樽、柴尾耕三社長）が創業五十五年を迎えた。雪国の安全で円滑な道路環境の発展を支えて五十五年。

技術開発・製品開発に投資を惜しまず、高性能・高精度な製品とともに、経済性・安全性に優れた防雪施設への転換を進める、防雪柵診断システムを開発した。

同社は、理化学研究所を母体とした新理研工業㈱および理研商事㈱の北海道営業所として昭和二十四年十二月に発足。理研系各社製品の販売を担当、順調に推移してきたが、同三十年十月、新理研工業が大同製鋼㈱と合併するのを機に営業所閉鎖の運びとなった。

しかし、取引先などからの存続要望を受け、三十年十一月十一日、小樽に本社を置く理研興業㈱が誕生。三十六年に世界六カ国で特許取得した「理研クロスボールト」を開発し、大反響を受けた。

三十八年に業務拡大に伴い札幌に本社を移転。その後、業界で初めて鋼材で防雪柵を開発し、特許を取得した。さらに防雪柵の改良・開発に取り組み、「自立型主柱折りたたみ式吹払柵」、「完全収納式防雪柵」、業界で初の「連動昇降型防雪柵」など次々とヒット商品開発に成功し、過酷な雪国のライフライン確保に貢献。平成七年には本社を再び小樽市に移転し、新社屋落成・最新地吹雪再現風洞実験室・製品検査場を完成させた。

近年では、カラマツ間伐材を使用した「木製高性能防雪柵」やNETISに登録された「高性能防雪柵（誘導板付忍び返し柵）」「自動収納型高機能防雪柵」「既設防雪柵対応型自動建込・収納工法」「鋼管杭への主柱接続工法『ZIG』」など優れた製品や技術を開発。

また、長年蓄積してきた「気象観測データ」の販売や、更新時期の把握の困難な防雪柵を同社が開発した「防雪柵診断システム」により既設柵の延命化を目的とした、現地による補修方法の確立など製品のみならず、次々と新たな試みに挑戦し続けている。

現在も数件の新製品開発の取組を関係機関とスタートし、来年には発表する予定。

理研興業のこの姿勢が続く限り、今後も発展し続けていくであろう。

お祝いの言葉

東北大学名誉教授、工学博士
三浦　尚氏

㈱の創業五十五周年おめでとうございます。

貴社は我が国の代表的防雪柵メーカーとして五十五年の長きにわたって、雪国の道路の安全確保に貢献してこられました。雪をコントロールする事は技術であり、防雪柵は技術に基づく高度な技術製品であるべきであります。

その点貴社は、単に防雪柵を製造するだけではなく、常により良い防雪柵を求めた技術開発を精力的に続けてこられました。それが貴社の製品の信頼につながっていることと思われます。今後とも、この方針を維持され、より良い製品を提供し続けていただきたいと願っております。

特定非営利活動法人 風土工学デザイン研究所理事長、作家
田村喜子氏

『北海道浪漫鉄道』を書いたのは二十数年前のことになる。明治三十年前田辺朔郎が、北海道一千マイル幹線鉄道の実地踏査を行った話を物語にまとめたものだが、函樽ルート（現・函館本線）踏査中のニセコ辺りで部下に雪垣について教えるくだりがある。

風が来る側に柱を立て、その間に横棒を渡す。これにむしろを張り、地面から二尺（約六〇センチ）隙間をあけることで、レール上に積もった雪を吹き飛ばすのだ。吹雪も集中的に来るところと来ないところがある。だから〝雪垣〟は全てにつける必要はない。風の通る所だけに立てればいい。

この当時道路さえ未整備の北海道で、〝雪垣〟は発想さえなかったといっていい。田辺は京都で琵琶湖疏水建設の工事主任在職中にアメリカで開発された水力発電を視察している。おそらくその時に乗ったカナダ太平洋鉄道の車窓から、彼はそれを目にしたのであろう。

たまたま拙著を読んでくださった理研興業の柴尾社長からは、「地上から二尺あるのは、現在も全く変わりません」とコメントいただいた。

百年余りの間に、材質はむしろから鋼製となり、積雪は地上から吹き上げられ、道路をまたいで遥か彼方へ飛ばされていく。夏場には景観を損ねないように、折りたたまれて道路脇で小さくなっている。

全て降雪や地吹雪による災害と事故からドライバーを守る為、創意工夫を重ねてきた賜物である。その間〝雪垣〟という情緒的な名は消え、「防雪柵」と表現は変わったが……。

今年、理研興業は創立五十五年、この道一筋真摯なものづくりにますます磨きがかかることを期待して、半世紀と五年の歴史にエールとお祝詞をお贈り申しあげます。

（独法）北海道立総合研究機構理事長、元北海道大学総長、元土木学会会長、工学博士
丹保憲仁氏

㈱の風雪五十五年の研鑽が、北国の道路交通の安全を支え続けて、今日の盛業にまで発展されたことを大慶に存じます。

昭和三十年年に大学の土木工学科を卒業した私共は、PSコンクリートを最初に大学で習った学年です。

札幌千歳間の通称弾丸道路（今の国道三六号）が、日本で最初の自動車道路仕様の道として働き出したのもその頃です。風雪との戦いを、まさに、戦後日本の道路技術の立ち上がりと共に始められた理研興業の先見の明に驚き、その後の真摯な努力発展に敬意を表して、五十五年の歴史を寿ぎたいと思います。

祝　創業55年　■五十音順■

株式会社　秋田デイックライト
代表取締役社長　今　洵
秋田県秋田市飯島字毅丁大谷地1－19　☎018(847)1011

株式会社　泉商店
代表取締役社長　下坂　和臣
岩手県花巻市卸町17番地　☎0198(26)4241

AGCマテックス株式会社
代表取締役社長　秋山　修
神奈川県相模原市中央区宮下1－2－27　☎042(772)1171

株式会社　角弘
代表取締役社長　小田桐　健藏
青森県青森市新町2丁目5番1号　☎017(723)2222

共栄株式会社
代表取締役社長　加賀屋　正之
福島県いわき市小島町2丁目3－6　☎0246(27)3300

幸和機械株式会社
代表取締役社長　福田　幸一
秋田県能代市浅内字横道19－1　☎0185(54)3258

株式会社　三尺堂商店
代表取締役　佐々木　満
秋田県由利本荘市寿町11　☎0184(22)1424

JFE建材株式会社
代表取締役社長　大出　直文
東京都中央区日本橋掘留町1－10－15 JL日本橋ビル　☎03(5644)1200

新日本製鐵株式会社 北海道支店
支店長　遠藤　善哉
北海道札幌市中央区北二条西4－1 北海道ビル8F　☎011(222)8261

株式会社　シンワ
代表取締役社長　熊坂　好朗
福島県福島市野田町7丁目10－6　☎024(534)0022

株式会社　青工
代表取締役社長　下池　重義
青森県青森市新田3丁目11番8号　☎017(782)5233

株式会社　第二物産
代表取締役社長　桝村　順
山形県酒田市東両羽町9－3　☎0234(23)6255

株式会社　デンロコーポレーション
代表取締役社長　冨永　充久
大阪市東成区深江北2丁目11番17号　☎06(6976)1161

トーヨーコーケン株式会社
代表取締役社長　小島　康夫
東京都江東区南砂8丁目19番20号　☎03(5857)3161

日新製鋼株式会社 北海道支店
支店長　吉本　隆
北海道札幌市中央区大通西7－1－1ダヴィンチ札幌パークフロント　☎011(241)7524

日本鐵板株式会社 北海道支店
支店長　鷹野　善雄
北海道札幌市中央区大通西10－4－16ダンロップSKビル6F　☎011(261)5541

橋爪商事株式会社
代表取締役社長　宮澤　信平
岩手県大船渡市大船渡町字欠ノ下向1－125　☎0192(27)1131

株式会社　メタルテック
代表取締役　木野　保幸
東京都墨田区緑4丁目29番9号　☎03(3633)8541

株式会社　メタルワン建材 東北支社
支社長　高見　弘
宮城県仙台市青葉区国分町2丁目14番18号定禅寺パークビル　☎022(227)4161

山形酸素株式会社
代表取締役社長　大場　正仁
山形県山形市久保田1丁目7番1号　☎023(645)0411

ユアサ商事株式会社 東北支社
支社長　石黒　誠
宮城県仙台市宮城野区新田東1丁目8番地2　☎022(236)0873

株式会社　横森製作所
代表取締役社長　有明　利昭
東京都渋谷区幡ヶ谷1－29－2　☎03(3460)9211

株式会社　理研油圧興業
代表取締役社長　濱田　俊司
北海道札幌市北区屯田9条2丁目1番20号　☎011(772)8280